
第 267 回 神戸大学都市安全研究センター RCUSS オープンゼミナール

日時：2021 年 5 月 15 日（土）14:00～17:00

視聴：下記ページから、ライブ動画視聴申込を事前に行ってください。

https://zoom.us/webinar/register/WN_ieD1gh4ATWKqpeYDgwDiUA

司会：橘 伸也 神戸大学都市安全研究センター准教授

① 富岳を用いた減災のための都市のデジタルトランスフォーメーション 大石 哲 神戸大学都市安全研究センター教授

岩外力に対して「もの」の耐力の方が上回っていることが安全の定義であった時代には、それぞれの個体を設計する際に想定外力よりも強く作っていけば事足りた。しかし、現在では災害が起こったときに衣食住ならぬ「医職住」の不足や欠落がないことが求められる「こと」の時代になってきて、インフラにもあらゆる場面での一定の機能維持が求められるようになった。そのような社会では、企業が持つ施設・人的資源の外力に対する耐力を知るためであっても、自社以外のサービスの健全性把握が必要になる。しかし、それらを平時から完全に確保するような仕組みや施設を維持することは非効率であり経営的に不可能である。そのような中では、企業の施設だけでなく関係する全ての要素を包含して計画を立てておく必要があり、そのためには複合的で広域のシミュレーションを行うことが求められる。それが都市の大規模数値シミュレーションである。現実の都市をシミュレーションするためには、現実の都市の情報が必要であり、正確には各建物や各施設の柱やはりの 1 本 1 本の断面、部材、位置、地下構造物の位置などである。データはあるがシミュレーションに活用できない障壁を下げ、都市のデジタルトランスフォーメーションを実現するための方法について説明する。また富岳を用いた防災減災研究の方向性についても説明する。

② 都市デジタルツイン技術を活用した民による国土強靱化 — 自然災害への対峙的な防災・減災からの脱却 — 飯塚 敦 神戸大学都市安全研究センター教授

2016 年、理研 AICS@神戸において、神戸丸ごとシミュレーションが行われた。仮想空間内に神戸の街が再現された。都市デジタルツインである。これによって、多種多様な災害リスクが定量化される。一方で、企業価値の向上に非財務情報が重視されるようになってきた。都市デジタルツインにより、その企業が晒される災害リスクが具体化され、その低減への投資が企業価値の向上に結び付く構図が現れてきた。すなわち、平時の経済活動が国土の強靱化につながる図式である。この具体化を検討してみたい。

【講演アンケートご協力お願い】

アンケート：<https://app.sli.do/event/amewqicz>

本日のオープンゼミナールへの感想等をお聞かせください。

【開催記録】後日、アンケート結果等を下記にアップします。

<http://open.kobe-u.rcuss-usm.jp/archive>

【今後のオープンゼミナールの予定】

<第 268 回 神戸大学 RCUSS オープンゼミナール>

日時:2021年6月19日(土)14時~17時

視聴:下記ページから、ライブ動画視聴申込を事前に行ってください。

https://zoom.us/webinar/register/WN_8Gaa4Kz3RdyBof7nNe2dUA

① 災害の多様性と大学の防災チャレンジ

伊藤 康人 大阪府立大学大学院理学系研究科物理科学専攻教授

地球のダイナミックな営みを反映し、自然災害は多様性に富んでいる。そして、生活の効率が最優先される大都市圏は多様な災害に極めて脆弱である。講演では、人口密集地を抱える大阪平野の地盤の成り立ちと、それに関連する災害特性について、最新研究成果を紹介する。また、そこに立地する大阪府立大学で、学生が主体的に取り組む防災・地域貢献活動について紹介する。

② 持続可能な地域の防災活動 ―フェーズフリーな防災対策―

秦 康範 山梨大学大学院総合研究部工学域土木環境工学系准教授

大きな災害が発生すると一時的に防災への関心は高まりますが、忙しい日常の中で防災意識を継続することは容易ではありません。そこで、日常時と非常時の垣根をなくすフェーズフリーという考え方が、近年さまざまなセクターで注目されています。持続可能な地域の防災活動のための取り組みと、フェーズフリーな防災対策について、皆さんと一緒に考えます。

司会:北後 明彦 神戸大学都市安全研究センター教授

※上記以降は下記の日程でオープンゼミナールを開催する予定です。

(当面、ライブ動画配信の形で実施予定です。)

●2021年7月17日(土)14時~17時

(内容:①建設事業のプロセスを改革する BIM/CIM)②BIM/CIM からインフラ DX(デジタル化による業務変革)への進化)

●2021年8月未定(土)14時~17時

【ご案内】

RCUSS オープンゼミナールは、広く社会に神戸大学都市安全研究センターの活動を公開するとともに、関連する各分野の皆様からの報告を通じて、安全な社会としていくための研究や実践のあり方を議論しています。

(地方創生に関する公募事業(COC+事業、代表校神戸大学)による「地域創生に応える実践力養成ひょうご神戸プラットフォーム」、ひょうご防災リーダー講座、及び、こうべ市民安全まちづくり大学と連携して実施しています。)

このオープンゼミナールには、大学の教職員・学生のほか、安全・安心に関心を持つ市民の方々や、コンサルタントなどの民間企業の方々、自治体の消防・建築・地域関係の職員の皆様などが参加されています。参加費は無料で、事前登録不要です。ご興味のある方は遠慮なくご参加ください。

【問合わせ先】 神戸大学都市安全研究センター(RCUSS) 〒657-8501 神戸市灘区六甲台町 1-1

TEL: 078-803-6440 (担当 熊崎、北後) TEL: 078-803-6437 (センター事務室 山崎) FAX: 078-803-6394

MAIL: open@rcuss-usm.jp HP: <http://open.kobe-u.rcuss-usm.jp/>